

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和3年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市どうぶつ公園協会
-----	---------------------

所管課	建設局 公園管理課
-----	-----------

団体に対するミッション
「到津の森公園」「ひびき動物ワールド」の指定管理者として、管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現、都市機能の増進、自然環境教育を推進する。

行財政改革大綱における見直し内容
平成26年度から、到津の森公園の指定管理業務に特化した団体として、これまで以上に組織をスリム化し、安定経営に努めるとともに、動物園を運営する団体として、市民に分かりやすい名称に変更する。

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	「到津の森公園」「ひびき動物ワールド」の指定管理者として、管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現、都市機能の増進、自然環境教育を推進しながら、入園者数の増加（令和5年度までに39万人）を目指す。
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H29	H30	R1	R2	R3		R4	R5
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
どうぶつ公園協会の収支均衡	30,983千円	△ 109,582千円	21,510千円	△ 6,642千円	指定期間 (R1～R5年度) での収支黒字	△ 12,132千円	指定期間 (R1～R5年度) での収支黒字	指定期間 (R1～R5年度) での収支黒字
動物種数・飼育頭数	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	90種 480点	90種 480点	90種 480点	90種 480点
動物サポーター・到津の森公園基金の園内での支援勧誘活動・理事長等による支援受入金額	年5回 558万円	年3回 473万円	年3回 350万円	年3回 155万円	年3回 150万円	年3回 148万円	年3回 150万円	年3回 150万円
学習プログラム受入校数、参加人数	51校 4,328人	45校 3,435人	50校 4,189人	40校 3,307人	40校 3,000人	31校 2,360人	40校 3,000人	40校 3,000人

ミッションの遂行状況の評価（令和3年度）

団体における評価	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5/12～6/20臨時休園、団体客のキャンセル等の影響で、学習プログラム等目標を達成できなかったものの、林間学園や夜間開園等イベントの規模を縮小して実施したり、観覧車の再稼働や新規遊具の導入など、入園者の回復に努めた結果、コロナ禍以前の約68%まで回復してきたところである。	市の評価	新型コロナウイルス感染症のための臨時休園等の影響で入園料収入等が減少し、収支赤字となった。また、団体客のキャンセル等により学習プログラム等目標を達成できなかった。しかし、人数制限や時間短縮を行うなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、出来る限り多くの集客イベントや企画展などを予定どおり実施できるよう努めたことにより目標値は下回っているものの入園者数が徐々に回復している。また、来園者の満足度が目標を達成していることから、想定どおりの成果があったと評価できる。
今後の課題及び見直し内容（案）	新型コロナウイルス対策を継続徹底しながら、令和4年度は、到津の森公園開園20周年のため、イベントや式典など記念事業を行い、PR活動を積極的に進め、集客増に繋げることをとする。	団体への改善指導内容（案）	入園者増・収入増に繋げるため、魅力あるイベントや企画、物販・飲食事業をはじめ、遊具広場の充実や園内の環境整備等、アフターコロナを見据えた取組に加え、営業や広報活動にあたっては、SNS等を活用するなど効果的な戦略を積極的に行うよう、さらなる充実を求めていく。 また、到津の森公園とひびき動物ワールドの両施設の連携にあたっては、共同事業の実施等についての働きかけを行うとともに、グリーンパークとの連携についても積極的に行うよう求めていく。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	事業範囲を見直す団体
北九州市行財政改革推進計画に掲載された内容の取組は完了。 H26.3.31で響灘緑地の指定管理業務を終了。 到津の森公園の管理業務に特化した団体として組織体制及び職員配置を見直し、H26.4.1付で市民に分かりやすい名称として「北九州市どうぶつ公園協会」へ名称変更した。	